

令和8年度 衆議院海外派遣 報告書概要

令和8年9月29日

1. 団名

衆議院イタリア共和国、フランス共和国及び英国における司法・法務事情等調査議員団

2. 目的

イタリア共和国、フランス共和国及び英国における司法・法務事情等調査のため

3. 派遣議員団

団長	法務委員会	委員長	井 上 英 孝 (維新)
	法務委員会	理 事	藤 原 崇 (自民)
	同		小 竹 凱 (国民)
	同		谷 川 と む (自民)
	同		阿 部 弘 樹 (自民)

同行 委員部第三課課長補佐 樋 口 裕 一

4. 派遣期間

令和8年9月7日（月）～14日（月）までの8日間

5. 派遣国

イタリア共和国、フランス共和国及び英国

6. 主な調査内容

(1) イタリア共和国

①内務省移民局を訪問し、移民政策について説明を聴取した後、意見交換を行った。

②CAS Mondo Migliore（移民施設）を訪問し、入国後の受入れ施設としての運用状況について視察を行った。

- ③アントニオ・カーロテヌート・ヴェッレトリ刑務所を訪問し、受刑者の改善更生のための取組み等について視察を行った。
- ④マスキオ下院法務委員長及びガッロ下院法務委員と面会し、移民政策について意見交換を行った後、本会議場を視察した。
- ⑤上院法務委員会を訪問し、シスレル上院法務委員会副委員長等と移民政策、組織犯罪対策等について意見交換を行った。

(2) フランス共和国

- ①ミシュレ国民議会仏日友好議連副会長及びサントゥール国民議会仏日友好議連会員と会談を行った後、本会議場等を視察した。
- ②内務省外国人総局を訪問し、外国人政策・移民政策について意見交換を行った。

(3) 英国

- ①CCRC（刑事事件再審委員会）を訪問し、調査の判断基準や CCRC の独立性等について意見交換を行った。
- ②ジャパン・ハウス ロンドンを訪問し、日本の多様な魅力や様々な取組の発信を行う拠点の実情を視察した。
- ③ミドル・テンプル（法曹院の1つ）を訪問し、施設を視察した後、刑事司法制度について説明を聴取した。

(注) 報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。